

政策評価制度部会における当面の取組事項

政策評価について、①政策の改善・見直しへの一層の活用、②各府省担当者の作業負担の軽減を中心に改善方策等の検討を行うこととし、当面は、以下の3分野についての検討を実施。

目標管理型評価

- 目標管理型評価WGにおいて、個別の評価を基に改善方策を検討
⇒ ①目標設定、②ロジック・モデル、③施策の分析手法、④評価の類型化(メリハリ)、⑤行政事業レビューとの連携等を中心に議論(別紙1参照)

規制評価

- 規制評価WGにおいて、個別の評価を基に改善方策を検討
⇒ ①評価の質の向上、②評価の活用の推進、③メリハリのある評価の実施等を中心に議論(別紙2参照)

公共事業評価

- 本年度(平成27年度)は、行政評価局の現地調査機能を活用した情報の収集・分析、臨時委員・専門委員の知見を活用した課題の洗い出し等を実施
⇒ 来年度(平成28年度)からWGを設置し検討を行うことも念頭

目標管理型評価ワーキング・グループにおける検討の流れ

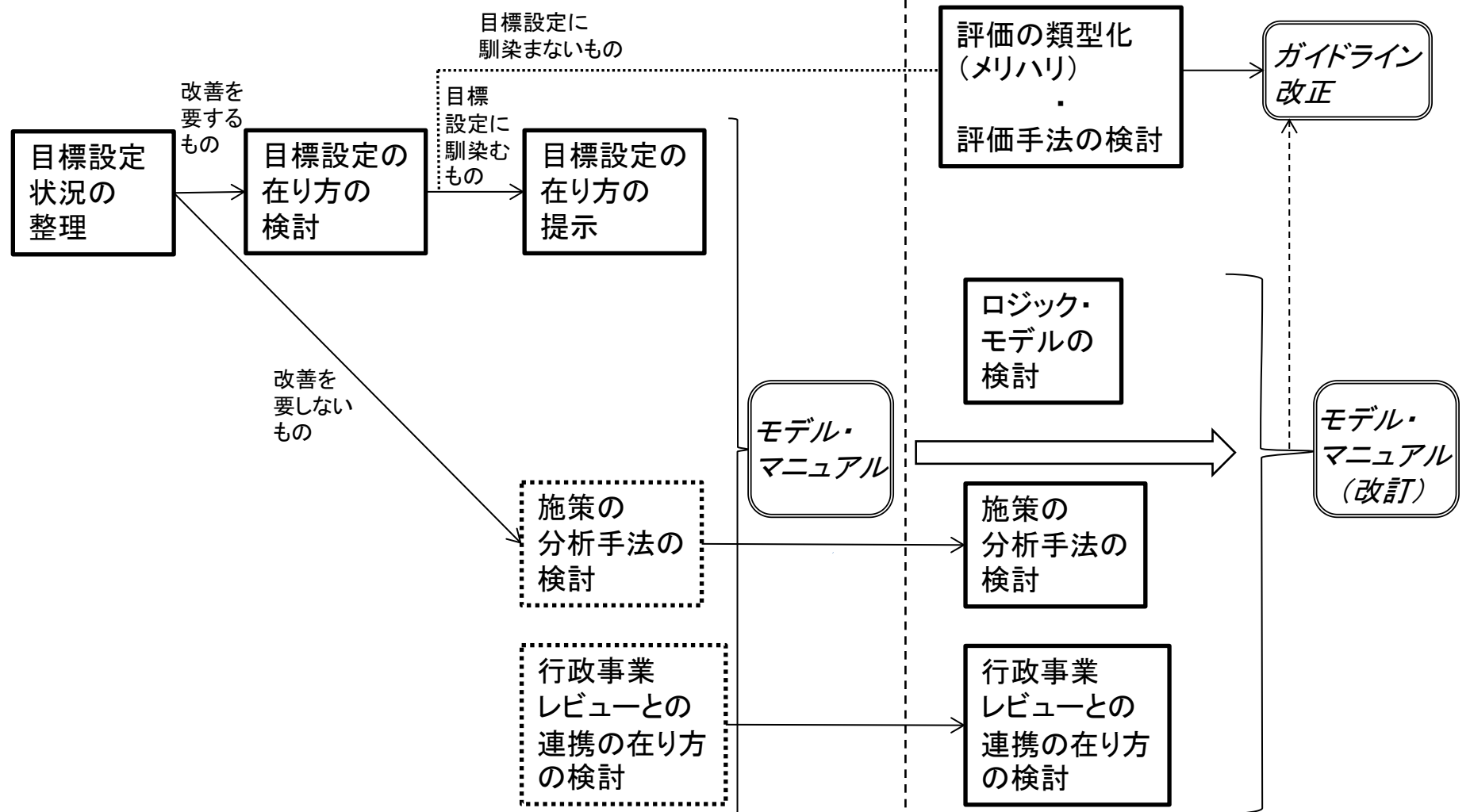
平成27年度

平成28年度

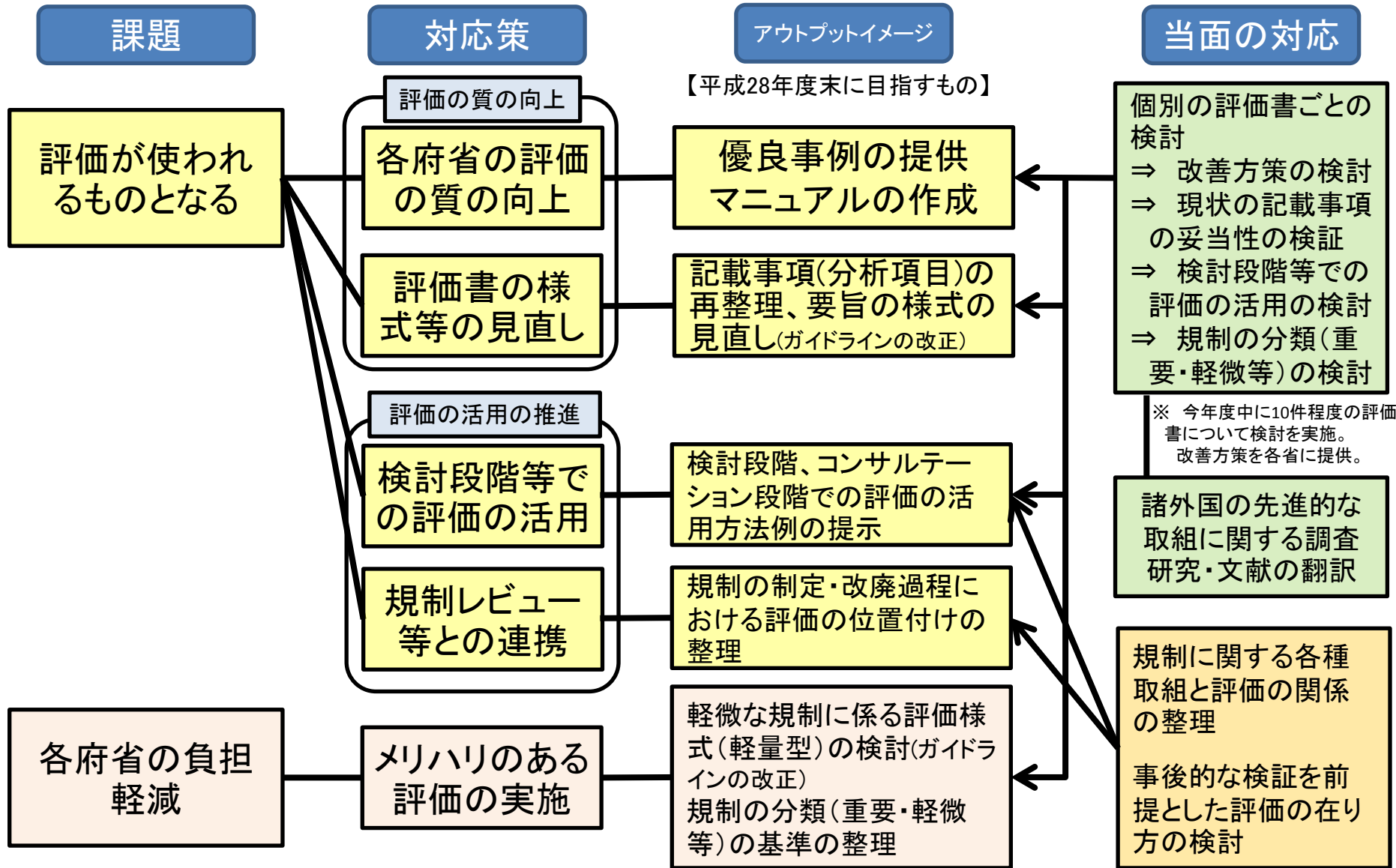
6月

2月

4月～



規制評価WGの取り組むべき課題と当面の対応方針



※ 明確な基準の設定は困難であると考えられることから、軽量型の評価で足りると考えられるものの例示を示すことを想定